

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 しまねの森からつながる循環型住宅「しまねの森の家」

グループの名称 「しまねの森の家」プロジェクト

直近採択グループ番号 06-0315-0612

(グループ代表者)

代表者名	藤原 徹	代表者印
代表者所属先	株式会社藤原木材産業	
代表者所在地	島根県出雲市白枝町790-3	
代表者電話番号	0853-23-9381	

(グループ事務局)

事務局事業者名	一般社団法人島根県住まいづくり協会	
事務局担当者名	富金原 名雅子	印
事務局郵便番号	690-0883	
事務局所在地	島根県松江市北田町35-3	
事務局電話番号	0852-31-1282	
事務局FAX	0852-31-8292	
事務局担当者E-mail	info@sumai.ne.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		9	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	9	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
長寿命型・高度省エネ型共に、未経験工務店と受注が確実な工務店へ優先的に配分していく。									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	11	戸	交付申請戸数	10	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	10	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	棟	戸			
採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しまねの森からつながる循環型住宅「しまねの森の家」	(地域型住宅供給対象地域) 島根県 鳥取県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「しまねの森の家」プロジェクト	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0315-0612	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	住宅の省エネルギー性能の見える化(平成28年省エネルギー基準一次エネルギー消費量算定)を標準化することで県産材を使用しながらも各型とも適切な外皮性能の設計を実施する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○島根県産の優良な木材「しまねの木」(地域認証材)を積極的に活用するため主要構造部(土台、通柱・管柱、梁、桁)の50%以上使用すること ○地質に応じた地盤調査を選定して実施 ○住宅履歴情報をグループでも管理する	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	島根県中山間地域研究センター作成の杉スパン表を基にした「しまねの木の家」設計マニュアルに準拠し、可変性の高い設計仕様を採用することにより、ライフステージの変化(家族構成の変化)に対応でき、長期にわたって住まい続けることが可能になる。	◎
④①～③の背景	島根の気候(多雨、多湿、積雪)を考慮するとともに、築地松の景観、田の字型間取りの長所を生かすなど、景観に配慮した家づくりに対応するための取組が求められる。県土は広域にわたり、様々な気候風土を有する側面が島根県にはあり、街並ガイドライン等との整合性については、ガイドラインの存在する地域においては、そのガイドラインを順守しながら計画を進めるとしてこれまでの取り組みを踏襲するものとした。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○しまねの木の家設計マニュアルにしたがい、スパン表の利用等、県産のスギ材の利用促進に取り組んでいる。	○
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○設備検討WGの回数を増やし、データの蓄積から品質維持のための基本となるバックデータを構築する。	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○設備検討WGを設置し、グループとして地域型住宅に使用する建材・設備の選定を行い、主に施工グループを対象とした建材の購入予定リストを作成し、事前に年間の使用量の割り出しを行う。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○設備検討WGにおいて選定した建材・設備の省エネルギー性等の客観的データを取りまとめ、長期優良住宅の認定をスムーズにするとともに、BELSの活用を図り、一次消費エネルギーのより少ない住宅の普及に努める。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○設備検討WGの開催をバックアップする。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○県内の他グループと意見交換会等から、活動の改良点のあぶり出しを行っている。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完全週休2日制へ移行するよう取り組んでいる。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 資格手当、職務手当等で実施している。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 既に加入している。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 安全講習を協力会社と実施している。安全パトロールの実施。健康診断の実施。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しまねの森からつながる循環型住宅「しまねの森の家」	(地域型住宅供給対象地域) 島根県 鳥取県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「しまねの森の家」プロジェクト	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0315-0612		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
a	① 住宅蓄積情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○住宅履歴情報活用WGの設置	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ共通の維持保全計画書の作成・活用とメンテナンス時期の明文化	◎
		②-2 補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○住まい手のための「住宅のお手入れマニュアル」の作成と勉強会の実施	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○維持管理検討WGの設置	○	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ事務局内に「すまい手相談窓口」の設置と、連絡先を明記した「しまねの森からつながる」の設置	○
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
	エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施工グループ内の、長期優良住宅の経験メンバーを中心として、実際の施工現場での施工勉強会と座談会形式の勉強会の実施	○	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 57人 今年度の参加目標人数 10人	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数			
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 健康・医療と省エネ住宅の関係をテーマとした講習会を実施する		○	
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しまねの森からつながる循環型住宅「しまねの森の家」	(地域型住宅供給対象地域) 島根県 鳥取県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「しまねの森の家」プロジェクト	(結成年) 2012 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0315-0612														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	地域材利用に関する														
①	共通 ルール(必須)	鳥根県中山間地域研究センター作成の杉スパン表を基にした「しまねの森の家」設計マニュアルに準拠し、可能な限り可変性の高い設計仕様とすること。使用する木材は、土台を除き、原則としてスギ材とする。	◎												
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>【補足】地域型住宅の地域材の供給の流れ ○一部、施工グループの構成員においては、すべて手刻みによる加工を行うため、地域材の供給の流れの中で、製材・集成材・合板グループから直接購入を行う場合がある。また、一部流通グループを介さずに、地域材の調達を行う場合がある。</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ内に情報共有WGを設置し、情報交換会を開催する	○												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループ内に情報共有WGを設置し、情報交換会を開催する	○												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○時期により供給不足が発生したりすることのないよう、グループ外の公共工事の発注機関等とも情報交換の場を設け、需給予測についても情報の共有化を行う。	○												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 150枚	○												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 300坪	○												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 50枚	○												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 50枚	○												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 石州瓦の使用を推奨している。	○												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。															
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組															
平成28年熊本地震の復興に資する取組															

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> しまねの森からつながる循環型住宅「しまねの森の家」	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 島根県 鳥取県
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 「しまねの森の家」プロジェクト	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0315-0612	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>当グループで取り組む木造住宅の基本は、「しまねの木」(地域認証材)を使用した在来木造である。可変性を保ちながら高い省エネルギー性能を有するものとする。</p> <p>高い省エネルギー性能を有することの見える化として[住宅版BELS認証]の取得に積極的に取り組む。</p> <p>高性能化する項目は概ね以下の通りとし、算定プログラムにおいてそのまま評価できる項目を主とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎壁・天井(屋根)、床(基礎)に基準に見合った高性能な断熱性能を有する設計とする。 ◎冷暖房は、ルームエアコンディショナーの設置を基本とする。 ◎換気については、ダクト式の第2種あるいは第3種換気を基本とし、ZEHの取り組みでは、径の太いダクト、かつDCモーターの使用を原則とする。 ◎給湯は、電気ヒートポンプ給湯器を基本とする。 ◎照明については、LED照明を基本とし、白熱灯は原則使用しない。 ◎ZEH算定時は、BELSのゼロエネ相当を最低基準とするが、外皮性能の向上による冷暖房にかかる消費エネルギーの削減を第一義とし、よりすくいPV設置でもZEH化できる設計に努める。 ◎ZEH算定時の外皮平均熱貫流率のグループ目標UA値は0.55とするが、積極的に6地域のランクアップ外皮平均熱貫流率は、0.5以下を目指すものとする。 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。